



自習&ハンズオントレーニング資料 System Recovery 18 インストール

ベリタステクノロジーズ合同会社
テクノロジーセールス&サービス本部

免責事項

- ベリタステクノロジーズ合同会社は、この文書の著作権を留保します。また、記載された内容の無謬性を保証しません。
- VERITAS の製品は将来に渡って仕様を変更する可能性を常に含み、これらは予告なく行われることもあります。
- なお、当ドキュメントの内容は参考資料として、読者の責任において管理/配布されるようお願いいたします。二次利用される場合、弊社はその成果物に対して責任を負いません。

目的

本資料で自習もしくはハンズオントレーニングを受講すると、以下が可能となります。

- **System Recoveryのインストール作業ができるようになります。**
- **作業時に必要な各種設定項目がわかります。**
- **上記により、お客様への製品販売時の作業が実施可能となります。**

はじめに

最初に、System Recovery (略称 SR)で利用する用語などを知っておきましょう。

リカバリポイント？

V2i ファイル？

SRD？

用語集 #1

リカバリポイント

- System Recovery で取得したバックアップイメージファイルを [**リカバリポイント**] と呼びます。また、リカバリポイントに含まれるファイルやフォルダは Recovery Point Browser で個別にリストアしたり、ドライブとしてマウント後にWindows エクスプローラなどの検索機能を通じて参照することができます。

ベースリカバリポイント

- 対象ドライブのイメージのフルバックアップに相当するリカバリポイントを [**ベースリカバリポイント**] と呼びます。ファイルの拡張子は.v2i (Virtual Volume Image) です。

増分リカバリポイント

- ベースリカバリポイントまたは直前の増分リカバリポイントが作成されたあとに変更されたドライブのセクタのみを含むリカバリポイントを [**増分リカバリポイント**] と呼びます。ファイルの拡張子は.iv2i です。

リカバリポイントセット

- ベースリカバリポイントと次回のベースリカバリポイントの取得までに行われる増分リカバリポイントをセットにした、バックアップデータの世代管理の単位です。System Recoveryでは、このリカバリポイントセットの数量で世代管理が行われます。例えば、ベースリカバリポイントを取得するタイミングが一ヶ月毎の場合は、リカバリポイントセットあたりは一ヶ月分のバックアップデータとなり、リカバリポイントを3つ残した場合には3ヶ月分のバックアップデータが存在する事となります。

システムファイル

- バックアップ先のフォルダに作成される、拡張子が.sv2iのファイルです。このシステムファイルを利用することで、より容易なシステム復旧が可能です。

用語集 #2

System Recovery Disk (SRD)

- System Recovery で使用する起動ディスクです。省略してSRDと呼ぶこともあります。この起動ディスクはOS にWindows PE を使用し、リカバリポイントにアクセスして復元するために必要な最低限の機能を備えています。Windows 上でドライブを復元することができない場合やコンピュータに致命的な障害が発生し、ハードディスク全体を復元する必要がある場合に使用します。
- System Recovery 18では、SRDは標準で添付されておらず、お客様毎に作成する必要があります。
- System Recovery 18では、SRD用のISOファイルを作成できます。OSの機能や各種ライティングツールを利用して、DVDメディアに焼いてご利用ください。

「システムで予約済み」パーティション

- Windows 7、Windows 8、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2016 ではシステム起動用のパーティションとして「システムで予約済み」と名前のついたパーティションがCドライブの前に作成される場合があります。「システムで予約済み」パーティションが作成されている場合のシステムディスク復旧には、Cドライブだけではなく「システムで予約済み」パーティションとセットで復旧する必要があります。

システム要件

- **オペレーティングシステム**

Windows 10、7、8、8.1

Windows Server 2008、2008R2、2012、2012R2、2016

※)最新の対応OS一覧、サポートするService Packなど、詳細につきましてはSCLをご確認ください。

System Recovery 18 Software Compatibility List (SCL)

https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/VSR_18_SCL

- **メモリ**

1GB以上

- **ハードディスク**

最大2GB（インストールする製品、言語により増減あり）

- **DVDドライブ**

（DVDメディアでインストール、リカバリを実施する場合）

関連情報

■ System Recovery 18 ユーザーズガイド

https://www.veritas.com/support/ja_JP/doc/51004009-51004015-0/index

■ System Recoveryの各種リソース

<https://www.veritas.com/ja/jp/product/backup-and-recovery/system-recovery/resources>

今後、上記の当社日本語WEBサイト上に関連情報をアップデートしていきます。

SR18 のインストール

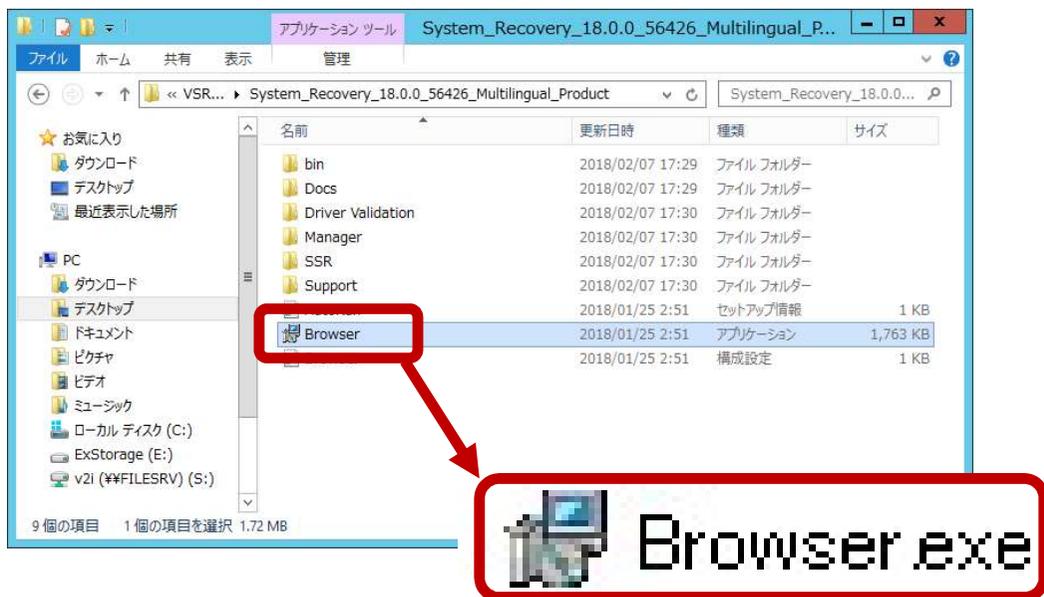
ハンズオン環境の場合は、事前に講師から指示された仮想マシン上で以降の作業を実施します。

以下を確認して作業を進めてください。

- ・仮想マシン名
- ・アカウント
- ・パスワード

自習の場合は、以降の記述内容を適宜自習環境の情報と読み替えて作業を実施してください。

SR18 のインストール



- SR18 のインストール先のコンピューターにログインし、エクスプローラーを起動します。

そして、

- DVD-ROMドライブ
- ディスク上のインストーラーのファイルのフォルダ (ハンズオンではE:¥上のフォルダ)

のいずれかを開き、

「Browser.EXE」

をクリックします。



- 最初に言語の選択画面が表示されますので、「日本語」が選択されている事を確認し「OK」ボタンをクリックします。

(インストール先のOSの言語設定に合わせて自動的に選択されています)

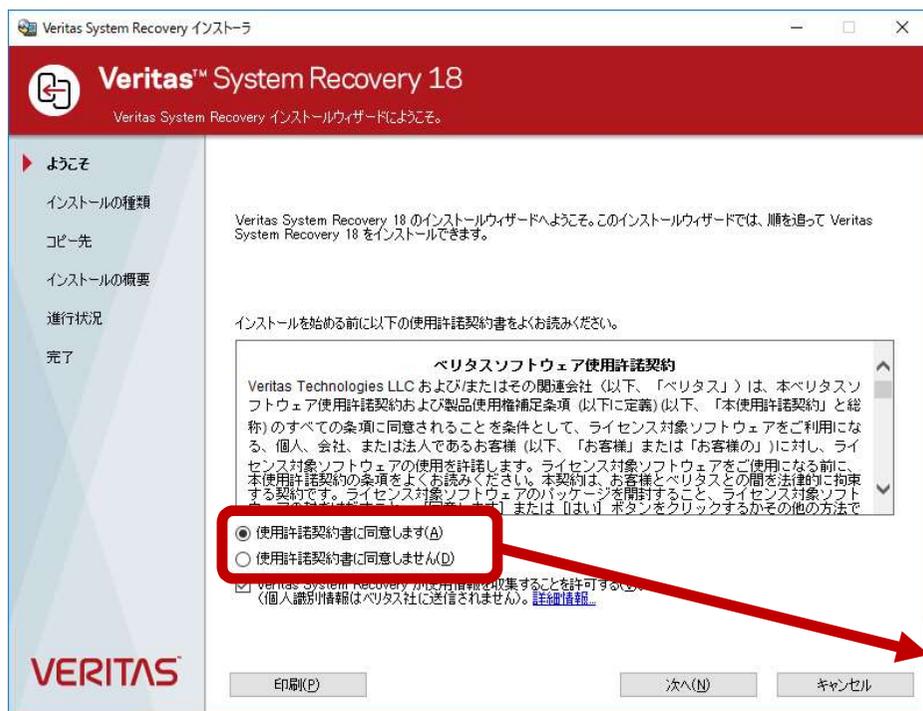
SR18のインストール



• Veritas System Recovery
メディアブラウザが起動します。

「今すぐにインストール」
をクリックします。

SR18のインストール



- ロードが完了すると、「ベリタスソフトウェア使用許諾契約」画面が表示されます。

「使用許諾契約の条項に同意します」
にチェックを入れた後
「次へ」をクリックします。

- 使用許諾契約書に同意します(A)
- 使用許諾契約書に同意しません(D)
- Veritas System Recovery が使用情報を収集することを許可する(V)。(個人識別情報はベリタス社に送信されません)。詳細情報...

SR18のインストール



- 実行するインストールの種類を選択します。

今回は「標準インストール」を選択し、「次へ (N) 」をクリックします。

通常、インストールに対する要件が特になければ、この標準インストールを利用します。

標準インストール(S)
すべてのプログラム機能をインストールします。

<参考>カスタムインストールについて

- System Recovery 18 のインストール時にカスタムインストールを選択すると各種コンポーネントのインストール有無が選択できます。
- 「集中管理するのでGUIは不要」といった場合や、「リストア作業は管理者のみが行うのでRecovery Point Browserは不要」といった場合などに、カスタムインストールは役立ちます。



SR18のインストール



- インストール先のフォルダを選択します。今回はデフォルトの設定のまま「次へ (N) 」をクリックします。



SR18のインストール



- インストール内容の確認画面が表示されます。

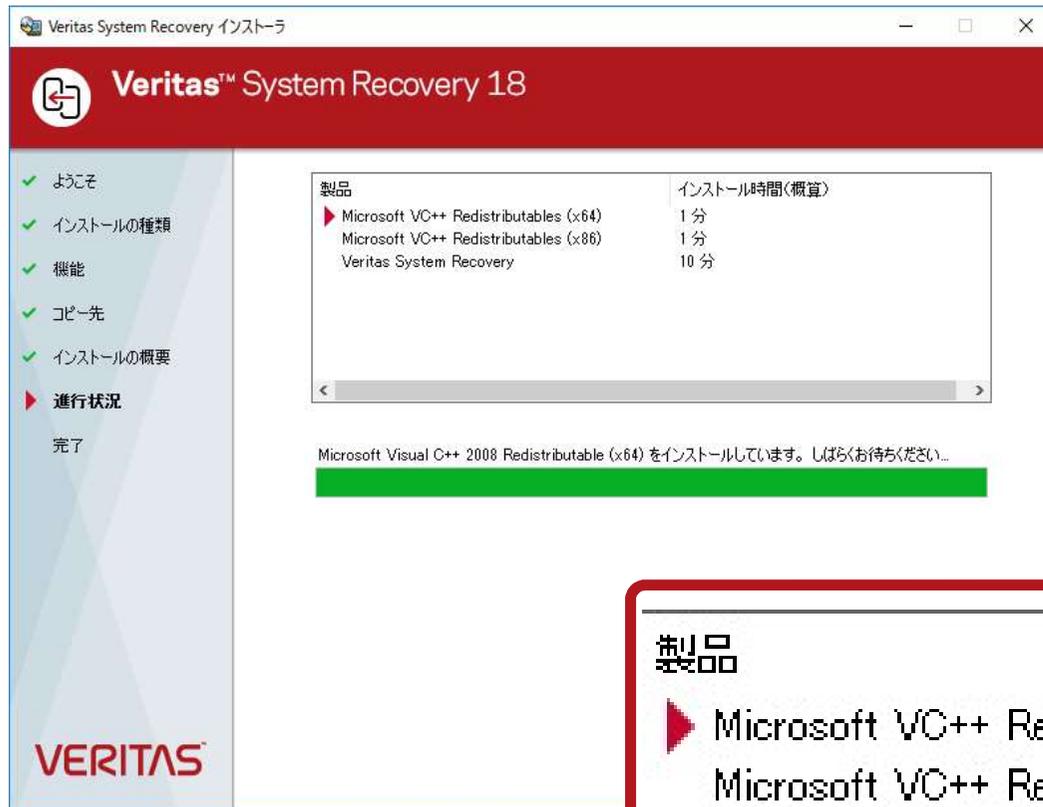
インストール概略の内容は既定のフォルダに保存されます。

- 画面右下の「インストール」ボタンをクリックして、作業を進めます。

概要の保存場所

C:\ProgramData\Veritas\Veritas System Recovery%\Logs\InstallSummary\VSR18.htm

SR18のインストール

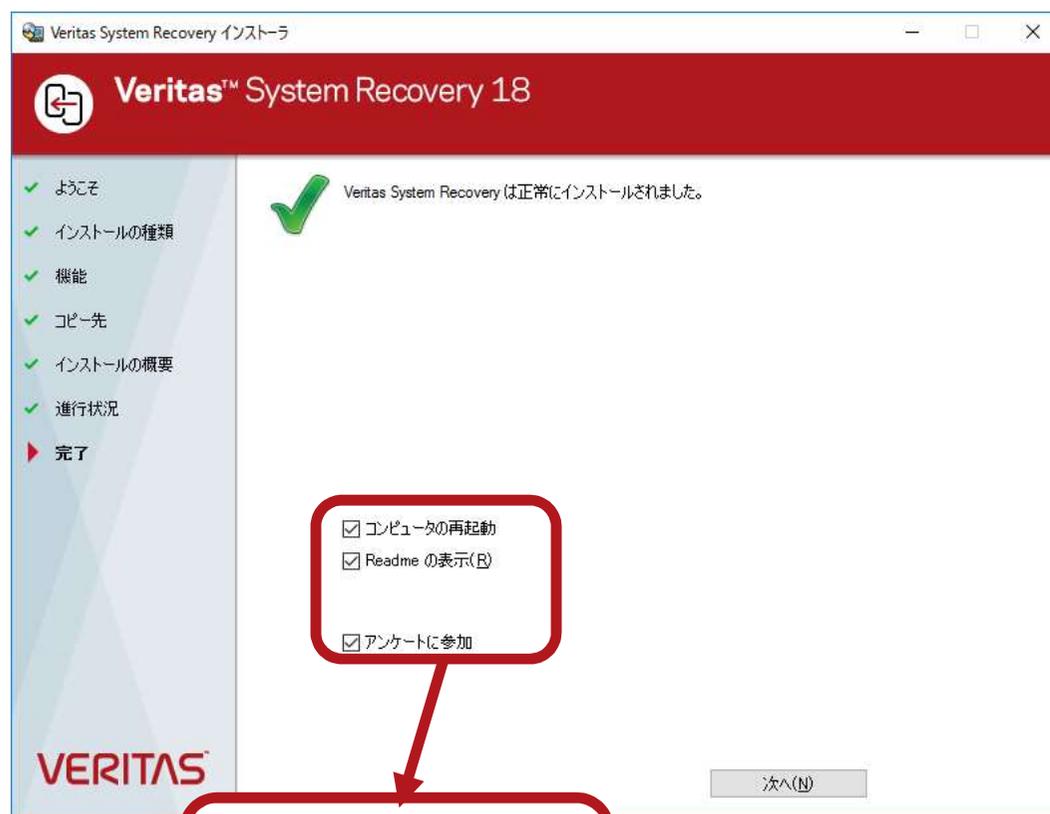


- インストールが開始され、インストールの進行状況が表示されます。

目安の時間が表示されます。

製品	インストール時間(概算)
▶ Microsoft VC++ Redistributables (x64)	1分
Microsoft VC++ Redistributables (x86)	1分
Veritas System Recovery	10分

SR18のインストール



- しばらくして、インストールの完了画面が表示されます。
- 必要な項目にチェックをいれ、ウィンドウ右下の「完了(F)」ボタンをクリックします。
- 「アンケートに参加」にチェックが入っている場合には、アンケート画面が表示されます。

「コンピュータの再起動」にチェックが入っている場合、インストール先のコンピューターが再起動します。

<注意>

SRのインストール完了には必ず再起動が必要です。
必ず再起動を行って下さい。

SR18のインストール



•Readme

各種重要情報が記載されています。 実際の導入時には必ず確認して下さい。

<ディスク上の保存先>

C:\Program Files\Veritas\Veritas System Recovery\Shared\Readme_ja.htm

SR18のインストール



- 再起動後、コンピューターにログインすると「Veritas System Recovery 18へようこそ」の画面が表示されますので「次へ」ボタンをクリックして下さい

SR18のインストール

Veritas System Recovery 18

製品のアクティブ化

有効なライセンスキーを入力するか、60 日間の評価版をアクティブ化してください。

試用期限まで残り 60 日です。試用期間が終了すると、Veritas System Recovery 18 (はコンピュータ、ファイル、フォルダを保護しなくなります。

評価製品をお使いでライセンスキーがない場合は、[Veritas Global Store](#) で今すぐご購入ください。

製品をすでに購入済みで、ライセンスキーを持っている(L)

ライセンスキー(K):

- - -

後でアクティブ化する(L) (残り 60 日)

<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 「製品のアクティブ化」画面にて製品のライセンスキーを登録するか、評価版として使用するかのどちらか選択を求められます。

評価版で利用する場合は「後でアクティブ化する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

ライセンスキーがある場合は入力欄にそのライセンスキーを入力し「次へ」ボタンをクリックします。

注) まず評価版で導入した後に、この画面で後日ライセンスキーを追加登録し、正規の製品版にすることが可能です。

<注意>

System Recovery は、製品版と評価版のバイナリはまったく同じです。キーの登録有無の差のみです。

SR18のインストール



Veritas Update を実行(V)
製品の更新を自動的に検索します。

- 「ありがとうございます」と書かれた画面が表示されます。インストールを行ったコンピューターがインターネットに接続されている場合には「Veritas Updateを実行」のチェックボックスにチェックを入れ、アップデートの確認をお願いします。そうでない場合には、「終了」ボタンをクリックします。

インストールを行ったコンピューターがインターネットに接続されている場合は、「Veritas Updateを実行」のチェックボックスにチェックを入れて終了すると、Veritas Updateが実行され最新のService Packが適用されます。

SR18のインストール



- 管理コンソール起動時、System Recovery Diskの作成をうながすメッセージが表示されます。

ここでは「OK」ボタンをクリックしてください。その後、SRのコンソール画面が表示されます。

これでインストール作業は完了です。

VERITAS™

ありがとうございました

ベリタステクノロジーズ合同会社
テクノロジーセールス&サービス本部

Copyright © 2018 Veritas Technologies LLC. All rights reserved. Veritas and the Veritas Logo are trademarks or registered trademarks of Veritas Technologies LLC or its affiliates in the U.S. and other countries. Other names may be trademarks of their respective owners.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.

2018年2月版